

# 宇都宮市立細谷小学校

## 学力向上に向けた学校全体での取組

### ★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
児童の基礎・基本の定着を図り、できた喜びが学ぶ意欲へとつながる指導の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>宿題の内容で再テストを行う漢字・計算オリンピックの年2回の実施により、積み重ねがよい結果に結びつく喜びを味わわせ、自信をつけさせる。</li> <li>算数科における少人数・習熟度・T・Tにより、個別支援を充実させ、分かる喜びを味わわせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「勉強が好きですか。」という質問に対しての本校肯定割合は、1年生83.1%、2年生87.7%、3年生71.6%、4年生61.4%、5年生は65.0%、6年生50.7%であり、学年が上がるにつれて下がっていた。</li> <li>3年～6年生の算数科について「好きですか。」という本校肯定割合は3年生74.3%、4年生67.5%、5年生70.0%、6年生53.7%であり、学年が上がるにつれて下がっていた。</li> </ul>
互いに認め、励まし合い、学び合う学習の場の設定と学習形態の工夫。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「きらきら細谷っ子学習のやくそく」を定着させ、友達の話をよく聞き、落ち着いて学習する環境を整える。</li> <li>ユニバーサルデザインを意識した学習環境と本時の流れの校内統一により、すべての児童にとって分かりやすい授業を目指す。</li> <li>新型コロナウイルス感染症対策をしながら、可能な限りペアやグループ学習で学び合いの場を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「先生や友だちの話を、最後まできちんと聞いている。」という質問の本校肯定割合は、1年生88.3%、2年生98.5%、3年生94.6%、4年生88.0%、5年生85.0%、6年生86.6%で、2年生以外の学年は市の肯定割合よりも低かった。</li> <li>「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。」という質問の校内肯定割合は、1年生76.6%、2年生90.8%、3年生74.3%、4年生72.3%、5年生78.3%、6年生74.6%で、2年生以外の学年は市の肯定割合よりも低かった。</li> </ul>
宿題や自主学習などの家庭学習の習慣化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習の手引きを配付し、家庭と協力して「自学(自分で考えて学ぶこと)」を全校で推進する。</li> <li>参考となる児童の自主学習ノートをコピーして掲示し、自主学習の進め方について児童と保護者に知らせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>平日の学習時間で割合が高かったのは、1年生が30分27%、2年生が30分29.7%、3年生が30分27.1%、4年生が1時間31.8%、5年生が1時間35.3%、6年生が1時間33.0%であり、下学年は30分が多く、上学年は1時間が最も多かった。</li> <li>「宿題はきちんとやり、期限までに提出している。」という質問の校内肯定割合は、1年生96.1%、2年生96.9%、3年生85.1%、4年生85.5%、5年生83.3%、6年生79.1%出あり、学年が上がるにつれて宿題の提出率が下がっていた。</li> </ul>

### ★市の調査結果を踏まえての次年度の方向性

<ul style="list-style-type: none"> <li>「自分にはよいところがあると思いますか。」の校内肯定割合は、1年生81.8%2年生92.3%3年生92.3%4年生75.9%、「自分のよさを人のために生かしたいと思う。」の校内肯定割合は、5年生80.0%、6年生73.1%で、2年生と3年生以外は市の肯定割合よりも下回っている。次年度も今年度に引き続き、互いに認め合い、励まし合い、学び合う学習の場の設定と学習形態を工夫し、自らのよさに気づき、伸ばすことができる指導の充実を図る。</li> <li>国語の「話すこと・聞くこと」の正答率は77.5%で、市の平均とほぼ同じであった。ペアやグループ活動による話合いに慣れてきたことが、「先生や友達の話を、最後まできちんと聞いている。」や「グループなどでの話合いに自分から進んで参加している。」のアンケート結果からも分かる。次年度は、話しの聞き方・話し方の基本的な学習態度・学習技能の育成をさらに重視し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に努める。</li> </ul>
---